

木と生きる幸福



2016年3月期 第3四半期決算

2016年1月29日 住友林業株式会社

目次

1. 2016年3月期 第3四半期業績	2
2. 2016年3月期 業績予想	6
3. 受注実績及び予想	10
4. 貸借対照表	11

2016年3月期 第3四半期実績 業績のポイント

2

- ・海外事業が全体業績を牽引し、売上高、営業利益、経常利益は前年同期を上回る。
- ・一部の固定資産の減損処理の影響で特別損失が発生したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績を下回る。

(単位:億円)	15/3期 3Q		16/3期 3Q		前期差	前期比
	利益率	金額	利益率	金額		
売上高		6,993		7,301	+308	+4.4%
売上総利益	16.3%	1,139	16.8%	1,228	+89	+7.8%
販管費		992		1,051	+59	+5.9%
営業利益	2.1%	147	2.4%	177	+30	+20.7%
経常利益	2.4%	168	2.4%	176	+9	+5.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.1%	79	0.6%	40	△39	△48.9%

2016年3月期 第3四半期実績 セグメント別業績

3

- ・ 木材建材事業⇒建材製造事業の業績回復の遅れ等から減益。
- ・ 住宅事業 ⇒主力の戸建注文住宅の完工引渡し棟数が減少した影響で減収、減益。
- ・ 海外事業 ⇒米国、豪州の住宅事業が好調に推移し大幅な増収、増益。
- ・ その他 ⇒インドネシアにおける植林事業で、事業計画の見直しによる減損処理が発生した影響で赤字となる。(持分法適用会社につき「持分法による投資損失」)

売上高

(単位:億円)	15/3期 3Q	16/3期 3Q	前期差	前期比
木材建材事業	3,213	3,205	△8	△0.2%
住宅事業	3,018	2,929	△89	△3.0%
内 リフォーム	426	470	+45	+10.6%
海外事業	971	1,385	+414	+42.7%
その他	115	123	+8	+6.9%
調整	△325	△342	△17	—
合計	6,993	7,301	+308	+4.4%

経常利益

木材建材事業	1.1%	34	0.9%	29	△6	△16.9%
住宅事業	3.5%	106	3.5%	101	△5	△4.9%
内 リフォーム	3.9%	17	3.6%	17	+0	+2.0%
海外事業	3.4%	33	6.3%	87	+54	+161.7%
その他	7.0%	8	△9.5%	△12	△20	—
調整	-	△14	-	△29	△14	—
合計	2.4%	168	2.4%	176	+9	+5.2%

2016年3月期 第3四半期実績 住宅事業 売上高実績(単体)

4

- ・戸建注文住宅⇒期初の受注残の水準が低かった影響により、金額、棟数ともに前年同期比で減少する一方、1棟当たり完工単価は上昇。
- ・賃貸住宅 ⇒堅調な市場環境を背景に順調に販売が伸びた。

		(単位:億円)	15/3期 3Q	16/3期 3Q	前期差	前期比
請負事業	戸建注文	金額	2,076	1,904	△172	△8.3%
		(棟数)	(5,763)	(5,016)	(△747)	(△13.0%)
		百万円(単価)	(36.0)	(38.0)	(+1.9)	(+5.4%)
	賃貸住宅	金額	66	96	+30	+46.4%
		(戸数)	(465)	(545)	(+80)	(+17.2%)
	その他請負	金額	21	13	△9	△40.5%
戸建分譲住宅	金額	58	75	+16	+28.0%	
	(棟数)	(159)	(193)	(+34)	(+21.4%)	
	百万円(単価)	(36.7)	(38.7)	(+2.0)	(+5.4%)	
注文住宅用土地	金額	31	29	△2	△7.6%	
リノベーション	金額	36	32	△4	△12.3%	
その他	金額	59	52	△7	△11.2%	
合計	金額	2,347	2,200	△147	△6.3%	
売上総利益率	(%)	(24.1%)	(25.2%)	(+1.1%)	—	
売上総利益	金額	567	554	△12	△2.2%	

2016年3月期 第3四半期実績 海外事業 事業別損益実績

5

- ・ 製造事業 ⇒ 堅調な販売及び為替水準の回復等により、ニュージーランド及び豪州のMDF製造子会社の業績が堅調に推移。
- ・ 住宅・不動産事業 ⇒ 米国・豪州の住宅事業が好調に推移したことに加え、2014年5月に連結子会社となったGehan Homesグループの業績が通年寄与する影響もあり大幅な増収、増益。

(単位:億円)	売上高				経常利益			
	15/3期 3Q	16/3期 3Q	前期差	前期比	15/3期 3Q	16/3期 3Q	前期差	前期比
製造	371	405	+34	+9.1%	6	17	+11	+196.5%
住宅・不動産	611	985	+374	+61.3%	54	114	+60	+112.5%
その他及び 連結調整等	△10	△4	+6	—	△26	△44	△18	—
合計	971	1,385	+414	+42.7%	33	87	+54	+161.7%

2016年3月期 業績予想 通期予想のポイント

- ・ 第2四半期決算発表時の通期予想から、海外事業の収益上振れの影響で営業利益を上方修正する一方、特別損失の増加により親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正。
- ・ 退職給付に係る数理差異については、通期予想には織り込んでいない。

＜通期予想＞
（単位：億円）

	15/3期 実績	16/3期 予想	前期差	前期比	16/3期		
					前回(2Q) 通期予想	差異	比率
売上高	9,973	10,500	+527	+5.3%	10,500	—	—
売上総利益	1,695	1,830	+135	+8.0%	1,820	+10	+0.5%
販管費	1,355	1,430	+75	+5.5%	1,430	—	—
営業利益	340	400	+60	+17.7%	390	+10	+2.6%
経常利益	364	400	+36	+9.8%	400	—	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	186	175	△11	△5.8%	220	△45	△20.5%

2016年3月期 通期予想 セグメント別業績予想

- ・売上高については、全てのセグメントで予想を据え置き。
- ・経常利益予想については、米国、豪州での住宅事業の収益が想定を上回る海外事業は10億円上乘せする一方、減損処理の影響で「その他セグメント」を10億円引き下げ。

売上高

(単位:億円)	15/3期	16/3期予想	前期差	前期比	前回(2Q)予想差	前回(2Q)予想比
木材建材事業	4,230	4,305	+75	+1.8%	—	—
住宅事業	4,539	4,590	+51	+1.1%	—	—
内 リフォーム	596	675	+79	+13.2%	—	—
海外事業	1,470	1,860	+390	+26.5%	—	—
その他	166	170	+4	+2.6%	—	—
調整	△433	△425	+8	—	—	—
合計	9,973	10,500	+527	+5.3%	—	—

経常利益

木材建材事業	1.0%	40	0.9%	38	△2	△5.9%	—	—
住宅事業	6.2%	283	6.6%	305	+22	+7.8%	—	—
内 リフォーム	4.4%	27	5.2%	35	+8	+32.0%	—	—
海外事業	4.2%	61	6.5%	120	+59	+95.9%	+10	+9.1%
その他	7.1%	12	5.3%	△9	△21	—	△10	—
調整		△32		△54	△22	—	—	—
合計	3.7%	364	3.8%	400	+36	+9.8%	—	—

2016年3月期 業績予想 住宅事業 売上高予想(単体)

- ・戸建注文住宅⇒ 3Qまでの進捗及び着工の状況から、確実に通期予想を達成できる見込み。
- ・賃貸住宅 ⇒通期予想を達成できる見込み。

		(単位:億円)	15/3期	16/3期 予想	前期差	前期比
請負事業	戸建注文	金額	3,134	2,993	△141	△4.5%
		(棟数)	(8,743)	(8,000)	(△743)	(△8.5%)
		百万円(単価)	(35.8)	(37.4)	(+1.6)	(+4.4%)
	賃貸住宅	金額	136	187	+51	+37.8%
		(戸数)	(1,014)	(1,340)	(+326)	(+32.1%)
	その他請負	金額	28	28	+0	+0.3%
戸建分譲住宅	金額	102	117	+15	+15.0%	
	(棟数)	(272)	(300)	(+28)	(+10.3%)	
	百万円(単価)	(37.4)	(39.0)	(+1.6)	(+4.3%)	
注文住宅用土地	金額	55	58	+3	+4.9%	
リノベーション事業	金額	57	64	+7	+12.6%	
その他	金額	80	93	+13	+15.9%	
合計	金額	3,592	3,540	△52	△1.4%	
売上総利益率	(%)	(24.6%)	(25.4%)	(+0.8%)	—	
売上総利益	金額	883	898	+15	+1.7%	

2016年3月期 業績予想 海外事業 事業別損益予想

- ・ 米国東海岸において住宅事業を展開する Dan Ryan Buildersグループ(以下DRBグループ)の持分を取得。ただし、期末は貸借対照表のみ連結、業績への寄与は来期からとなる。
- ・ DRBグループは2014年12月決算の実績ベースで年間1,248棟の販売実績があり、目標としている米国5,000棟体制が視野に入ってくる。



(単位:億円)	売上高			
	15/3期	16/3期 予想	前期差	前期比
製造	504	532	+28	+5.6%
住宅・不動産	981	1,330	+348	+35.5%
その他及び 連結調整等	△15	△2	+13	—
合計	1,470	1,860	+390	+26.5%

経常利益			
15/3期	16/3期 予想	前期差	前期比
7	26	+19	+271.6%
96	150	+53	+55.4%
△42	△56	△13	—
61	120	+59	+95.9%

受注実績及び予想

- ・戸建注文住宅事業の3Q実績は受注単価が上昇傾向にあるため、金額ベースでは通期予想のペースを上回って推移している一方、棟数ベースは苦戦。
- ・木質感溢れる上質な空間を提供する「邸宅設計プロジェクト」は順調に推移しており、駒沢、八事(名古屋)に続き、3ヶ所目となる専用展示場を東京・立川にオープン予定。

		(単位:億円)								
		15/3期 3Q	16/3期 3Q	前期差	前期比	15/3期 実績	16/3期 予想	前期差	前期比	
受注	戸建注文	金額	2,060	2,206	+146	+7.1%	2,902	3,090	+188	+6.5%
		(棟数)	(5,566)	(5,720)	(+154)	(+2.8%)	(7,804)	(8,200)	(+396)	(+5.1%)
		百万円(単価)	(32.9)	(34.0)	(+1.0)	(+3.1%)	(33.2)	(34.1)	(+0.9)	(+2.8%)
	賃貸住宅	金額	153	177	+25	+16.1%	218	227	+9	+4.2%
	(戸数)	(1,029)	(1,165)	(+136)	(+13.2%)	(1,486)	(1,550)	(+64)	(+4.3%)	
	リフォーム	金額	421	468	+47	+11.2%	559	692	+133	+23.8%
	その他請負	金額	14	33	+19	+132.5%	14	42	+28	+192.7%

駒沢展示場(東京都世田谷区)



八事展示場(愛知県名古屋市)



立川展示場(東京都立川市)2月オープン予定



貸借対照表

(単位:億円)	15/3期末	16/3期 3Q	増減		15/3期末	16/3期 3Q	増減
現預金・有価証券	1,078	804	△274	仕入債務	1,676	1,666	△9
売上債権	1,242	1,367	125	短期借入金・社債	313	317	3
商品・製品等	266	264	△2	未成工事受入金	468	625	157
未成工事支出金	229	417	188	未払法人税等	46	12	△35
販売用不動産	392	413	21	賞与引当金	100	57	△43
仕掛販売用不動産	371	457	86	その他の流動負債	318	383	65
短期貸付金	326	308	△18	流動負債計	2,921	3,059	138
未収入金	446	398	△48	長期借入金・社債	662	676	14
その他流動資産	153	167	13	退職給付に係る負債	131	124	△6
流動資産計	4,502	4,594	92	その他の固定負債	334	323	△11
建物・構築物	319	299	△20	固定負債計	1,126	1,123	△4
土地	270	266	△4	株主資本	2,156	2,153	△2
投資有価証券	753	812	59	その他の 包括利益累計額	302	251	△51
その他固定資産	811	778	△33	非支配株主持分等	150	163	13
固定資産計	2,153	2,155	2	純資産計	2,608	2,568	△40
資産合計	6,655	6,750	95	負債・純資産合計	6,655	6,750	95

- ・海外住宅・不動産事業を中心に、資産規模が拡大しており、販売用不動産及び仕掛販売用不動産が増加。その他、未成工事支出金及び未成工事受入金の増加は、主に戸建注文住宅事業の期中における工事進捗に伴う通常の動きである。

木と生きる幸福

住友林業グループ

注：本資料上の予想数値は現時点での予測に基づいており、
実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。